

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニユース

No.915

12.6.27

6月定例市議会報告

6月定例市議会も残すところわずかになりました。本号は、日本共産党市議団の一般質問の報告です。

河西保育所の建て替え問題

6月14日(木)日本共産党の森下さち子市議は、河西保育所の民営化とそれに伴う園舎の建設問題について一般質問しました。

市は2年後に民営化する方針を持ちながら、今入所している保護者に知らせていませんでした。また老朽化した園舎の建て替えを園



さんは遊び場と安全の確保から、別の場所に仮設園舎を建ててほしいとの要望を市長に提出しています。

森下市議は、保護者の気持ちを含め、子ども達に安全な環境を与えることを求めるとともに、民営化そのものについて議論することを求めました。

森下市議はまた、安原地域のバスの確保も要求。

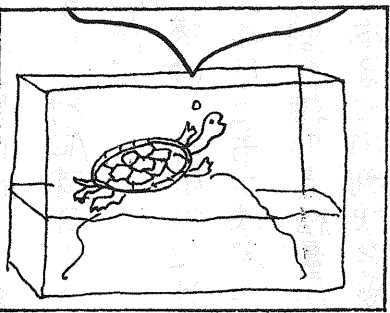
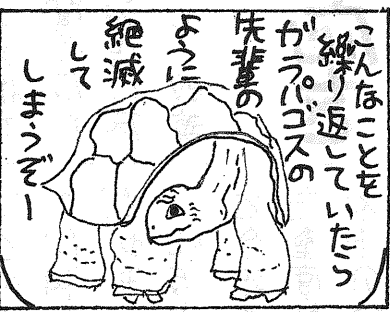
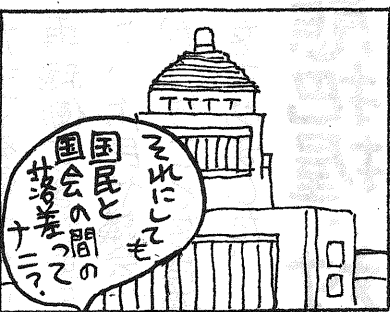
住金共同火力発電所・環境問題

6月15日(金)日本共産党の渡辺忠広市議は、住金構内の共同火力発電所新の方発電機建設について一般質問しました。

渡辺市議は、環境影響評価書に対する意見が求められたにも関わらず、市は何の検討もせず、環境への影響がないようにとの要望にとどめたことについて、渡

フリーの入々 (698)

消費増税法	衆議院通過
賛成	363
反対	96



和歌山市は、市民の生活環境を保全する責任の放棄など

こんにちは
日本共産党の
ふじい健太郎
です。
(その325)

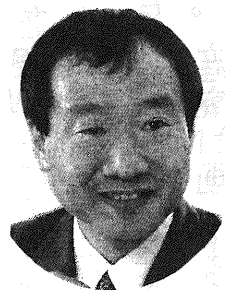
和歌山市社会保障推進協議会の「国保相談会」に、私も相談員として参加し話を聞きました。

年金もなく他に収入はないのに、介護保険と後期高齢者医療の保険料をこんなに払わなくてはならないのか、また、夫婦2人で年金ぐらしなのに国保料が高く、なんとかならないかという相談でした。

介護保険も後期高齢者医療も同居家族に負担義務を課しているために、住民票で課税者と同じ世帯であれば減免を受けられないこと、国保料は所

得によっては減免申請ができることなど説明し、保険料そのものの引き下げや減免制度の充実などの運動の必要性も訴えました。

市役所入口で相談会案内のポスターも貼りましたが、駅頭のポスターと違ってほとんど受け取って水で、話かけてくれない。「必死に働いているのは国保料や住民税を払うためではない。家族の生活を守るためだ。政治はいつも変わっていないなど、口ぐちに負担の高さを訴えられました。政治を変える運動を一緒にすすめてまいり。



ふじい健太郎
前県会議員

介護現場の実態把握・対応を

6月18日(月)日本共産党の松坂みち子市議は、介護現場の実態把握と障害者の介護支給量の検証を求める一般質問を行いました。今年4月から改定された介護保険制度の内容は、介

指摘し、今後の対応を質しました。市長は、今後は必ずに必し専門家の意見を聞く審議会を開くと答弁。渡辺市議は、市が関西電力海南発電所から2号機を再稼働する計画を聞きながら、市民や議会に報告しなかつたことを指摘し、改善を求めました。

にどのような現状になっているのか調査し、対応するよう求めました。松坂市議は、去年の12月と今年の4月に市が決定した重度訪問介護の支給量が不十分であるとの判決を受け入れたことについて、今

護報酬の引き下げや生活援助の時間を45分に切り下げるなど、事業者にも利用者にも直接影響するものです。松坂市議は、実際に困っている方々の声を紹介し、市の責任で改定の影響が現場

産廃処分場建設計画の撤回を

森林伐採で洪水心配

6月20日(水)日本共産党の南畑さち代市議は、滝畑の民間産業廃棄物処分場建設計画について一般質問

日本共産党 経済提言懇談会
 7月8日(日)14時
 地場産業振興センター5階ホール
 山下よし子市議が報告します。
 日本共産党北都地区委員会

しました。南畑市議は、和歌山地方気象台が降水量244.5ミリを観測した2009年の集中豪雨で滝畑地区は洪水

水にならず、164.5ミリを観測した1995年に同地区が大洪水になったことを当時の写真を示して指摘。産廃計画による川へクタルもの森林伐採が大洪水の危機を増大させるとし、住民の不安を解消するためには、計画撤回が不可欠と迫りました。担当局長の答弁により、業者提出の気象台観測の降水量データが滝畑地区の降水量を正確に反映してないことが明らかになりました。

日本共産党



原総再稼働の政府方針に対して、首相官邸への抗議行動がすさまじいことになっています。最初の参加は2千7百人だったそうですが、6

月22日には4万5千人にぶく水上がりしました。22日の行動では、日本共産党の志位委員長もマイクを握りました。その動画を党のホームページでみることもできます。福島の事故の原因究明がないまま、そして政府自身



くにしげ 秀明 (衆院区)

ないのに、新たな「安全神話」をつくりだす再稼働強行は言語道断です。行動を伝えない報道機関に抗議の声が上がるなど世論は沸騰中。政府は国民の命と生活を守る立場で、民意を聞け!

大雨で231件の浸水被害

25日曜

6月21日(木)から22日(金)に降った大雨で、和田川下流では田畑や道路が冠水。NHKテレビがニュース報道、民放もワイドショーで取り上げました。市総合防災課の発表(25日14時現在)では、この大雨で床上浸水50件、床下浸水181件の被害が生まれ

た。また、滝畑でガレ崩れが、六十谷で土砂崩れが起きました。富浦保育所付近の田んぼで溺れかけていた男性を警戒中の消防職員が救助したとのこと。被災されたみなさんにお見舞い申し上げます。浸水防止には河川や下水、遊水地の整備が必要です。